

監視王Ior 及び監視王IIIの電流チェック方法

Io検出である「監視王Io」「監視王V」は、通常のリレー試験器から出力させた電流でチェックが可能です。Ior検出を行う「監視王Ior」「監視王III」の電流チェックは、電源電圧の位相をあわせる必要があります。弊社「LB-6」のELB活線試験モードを使用することで、測定電路電圧と同相の試験電流を任意に出力することが可能です。

使用試験器について

- 一般のGR用試験器では電圧に対し、同位相の電流を出力させることが出来ないためIor監視装置のチェックは出来ません。(Io電流の確認のみ可能です。)
- ELB試験器でも「試験器内で波形を作り直す仕様の機種」「電流出力を任意可変出来ない機種」では対応出来ません。

試験結線図

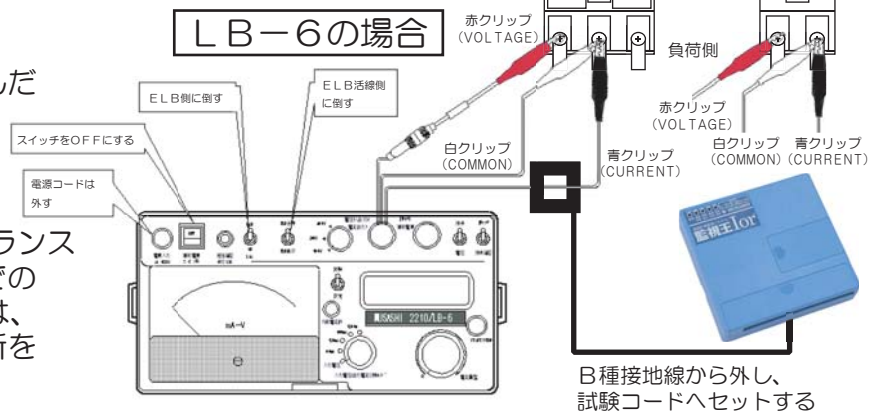
LB-6を使用し、校正電流を発生させます。赤⇄白クリップより電圧(電源)を取り込むためコンセント電源は不要です。黒⇄白に流れる電流は、入力した電圧と同位相($\cos 0^\circ = 100\%$)となるため、Ior・Io共にLB-6で設定した電流値が検出されます。

3P			7ルーカ種別	2P
R	S	T	3相	—
U	V	W	単相	L N

〔基準電圧の取込み箇所〕

- 単相は専用コード(監視王Ior)又はコンセント(監視王III)で取り込んだ基準電源
- 三相はMVA-3の設定で使用した基準電源

※ 取得が困難な場合には同電源のトランスからでもかまいませんが、監視王でのIoとIorの数値に差異が出る場合には、基準電圧の取込みに使用した箇所を厳守してください。



電流チェックを行う監視王の電流センサーは、CURRENT (電流出力端子)コードへクランプしてください。COMMON (共通端子)での検出では、正しい校正値を得られません。

※注意
漏電ブレーカーへ接続する場合は必ず白・青クリップを負荷側に揃えて接続してください。試験電流により漏電ブレーカーが動作する可能性があります。

動作電流値の確認

監視王による電流値取得は以下のとおりです。

- ① 本体の電池BOX内「試験通報スイッチ」を押すことで現在入力中の電流値がメールに送信されます。(監視王Ior・Ioのみ)
- ② MBS (ムサシ・バックアップ・サーバーシステム) の「計測データ一覧」より電流値が確認出来ます。

※ 本体「警報発生ランプ」はメール通報設定を行わない場合でも、最小設定である「注意」レベルに到達した時点で点灯しますので、本試験のご確認には使用出来ません。

LB-6のメーター精度は2.5級の為、F.S (フルスケール) 60mAレンジを使用時の50mA出力は実質3%程度の仕様誤差を生じます。絶縁監視装置の要求精度は±10%であるため実用的には十分な校正精度ですが、より精度を求められる場合はLB-6の外部出力計端子を使用するか、高精度リーククランプによる出力電流値の確認を願います。

ムサシインテックホームページアドレス <http://www.musashi-in.co.jp/>



Intelligent Technology Corporation.

株式会社 ムサシインテック

東京営業所 / 〒358-0035 埼玉県入間市中神918-1

大阪出張所 / 〒581-0025 大阪府八尾市天王寺屋1-50

九州営業所 / 〒816-0811 福岡県春日市春日公園7-100

TEL:04-2934-6034(代表) FAX:04-2934-8588

TEL:072-990-1161(代表) FAX:072-990-1162

TEL:092-592-2161(代表) FAX:092-592-2163

ご不明な点につきましてはムサシインテック技術サービス04-2934-3671までお問い合わせ下さい。